

コウノトリの繁殖経過

よこはま動物園 ○末廣友里

よこはま動物園では2019年4月8日に展示場にてコウノトリ(*Ciconia boyciana*)が一羽孵化した。当園でのコウノトリの繁殖は2006年以来、13年ぶりである。2006年の繁殖時にはNo.3 オス×No.5 メスペアより4羽のコウノトリが誕生している。以降、このペアの繁殖は制限することとなった。コウノトリの野生復帰事業を進めるにあたり、生息域内・域外の関連施設が連携して保全事業に取り組んでいくため、コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(略称 IPPM-OWS)が2013年に設立され、当園も参加している。IPPM-OWS ではコウノトリの計画的な移動や繁殖への取り組みが行われている。当園は2018年2月20日に東京都多摩動物公園よりペア(No.13 オス×No.12 メス)を搬入し、今年度の雛の孵化に至った。繁殖期に入る前の2018年12月下旬に巣台上に監視カメラを設置し、行動を観察した。1月に入るとペアの営巣行動が活発になり、相互クラッタリングや巣材運びなどの行動が頻繁に見られるようになった。2019年2月11日に今年度の繁殖期において初交尾が観察され、産卵は3月4日、6日、8日、10日にあった。産卵日にも回数は少ないが交尾は行われ、計81回の交尾が確認できた。4月8日に孵化した雛には孵化当日から親による給餌が行われ、その後も飼育員の介入の必要なく、両親に育てられた。雛は順調に生育し、2019年6月17日に71日齢で巣立ちを迎えた。